



加茂西小最後の修学旅行

11月1日(月)～2日(火)、6年生が村上・新発田方面への延期となっていた修学旅行に行ってきました。県内修学旅行に変更し、子どもたちが選んだのが村上方面でした。昭和22年に加茂西小学校となって、初めて行われた宿泊修学旅も村上・瀬波方面でした。西小最後の修学旅行も村上。縁を感じます。

コースは、次のようでした。学校→村上市スケートパーク→岩船港鮮魚センター(昼食)→イヨボヤ会館→城下町村上町屋めぐり(おしゃぎり会館・若林家住宅・きっかわ・黒塀通り)→ホテル(泊)→新発田名所巡り(新発田城・蒔谷虹児記念館・清水園・足軽長屋)→せんべい焼体験→ふるさと村(昼食・おみやげ)→中野邸見学→帰校

県内の修学旅行は見学地への移動の時間が短く、たくさんの見学地を巡ることができました。特に、イヨボヤ会館近くの三面漁業組合に伺うと、「せっかく修学旅行できたのだから」と予定になかった鮭の漁の実際と採卵～孵化場への手続きを全部見せてくださいました。川の水に胸までつかりながら網をたぐり寄せる漁協のみなさん、迫力ある鮭の勢いと大きさ、割かれた鮭の腹から勢いよく飛び出す卵の様子。漁協のみなさん、バスガイドさんのご厚意のお陰で貴重な経験をさせていただきました。県内の良さを実感するすてきな修学旅行となりました。



三面川漁協で採卵の見学

お話しトレインの皆さんへ



熱心に聞く5年生

春から、月に1回、読み聞かせに来てくださっていたお話し

トレインの皆さんですが、11月が最後となりました。お話しを聞き終わった後、次のような一人一人が書いた感謝のメッセージを各学年で渡しました。「いつも楽しい本を読んでくださってありがとうございました。ぼくは本が好きになりました。これからも本をたくさん読んで本はかせになりたいです。(3年児童)」
加茂西小学校での読み聞かせは終わりますが、石川小学校でも引き続き、お世話になります。



メッセージ贈呈

12月の主な予定

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1日(水) 委員会⑦ | 9日(木) 個別懇談① |
| 2日(木) 石川小学校 PTA 講演会 | 10日(金) 個別懇談② |
| 3日(金) 2年生石川小交流会② | 3年生石川小交流会② |
| 6日(月) 預り金振替日 | 14日(火) 全校集会 |
| 7日(火) 全校集会(スマイル集会) | 15日(水) 地域子ども会 |
| 4年生石川小交流会② | 21日(火) 4限給食放課 |
| | 22日(水) 4限給食放課 |
| | 23日(木) 2学期終業式 |
| | 24日(金) 冬季休業(1月6日まで) |



学校だより加茂西小学校

第14号



令和3年12月1日

TEL 52-0478



全校で「星に願いを」合奏



お世話になった松田さん・塩野さんに金メダル!



閉校記念式の言葉と合唱「ふるさと」「校歌」

加茂西小学校最後のみのり祭りをを行い、在校生ご家族、関係者の皆様に公開いたしました。体育館で行ったオープニングでは、2年生のはじめの言葉、「星に願いを」の全校合奏を行いました。

その後、各教室に会場を移して、生活・総合の学習発表会を行いました。2年生:「自分たちの住む町をたんけんしよう」 3年生:「地域の『いいね』見つけ隊「加茂のなしは日本一おいしいよ!」 4年生:「加茂川たんけんたい」 5年生:「お米のことを調べよう『西小学区のコメ作り』」 6年生:「西小学区の人々の生き方に学ぶ」 ポスター形式を基本としながら、タブレットでスライドをつくり、写真や資料を補ったりして、参観者に伝わるように大きな声で発表しました。

エンディングでは、再び体育館に参集いただき、「みのり田への感謝の会」と閉校記念式で行ったお別れの言葉、合唱「ふるさと」、幻の歌詞付きの「校歌」、6年生の終わりの言葉で幕を閉じました。藤田加茂市長様、山川教育長様、滝沢市議会議長様、新潟大学の樋口先生と学生さんなどからもご来校いただき、全ての学年の発表を丁寧に聞いていただきました。

みのり祭：各学年の発表



◆2年生は、スパーク加茂、大野美容室、割烹魚喜、駐在所など、以前からずっと気になっていた地域にあるお店や施設について調べたことを発表しました。それぞれのお店や施設の特徴、自慢や工夫を丁寧に聞いてまとめました。聞いてくださる方に向かって、大きな声ではっきりと説明をしていました。その姿が素晴らしかったと感想をもらい、とても嬉しそうでした。

◆3年生は、梨栽培について、山島の伊丹峯生さんの農園見学と農作業体験、インタビュー、選果場の見学を通して詳しく学びました。栽培の年間スケジュール、梨の種類、病気、出荷等についてまとめました。その中で、「苦労は楽しみに変わる」という伊丹さんの言葉に感動し、梨栽培の奥深さ、素晴らしさに気づくことができました。



◆4年生は、「加茂川たんけんたい」として、加茂川の春の鯉のぼりのイベント、整備された河川敷、鮭漁などを調べました。その一方、加茂西地区が長年、湿地帯で苦労を重ねてきたこと、水害のたびにたくさんの苦労をしてきたことを数多くの資料や地域の人へのインタビューから学びました。床上浸水や山島の果樹園の水没した後の膨大な復旧作業に驚き、住寺堀の排水機場の重要性、防災や消防団の大切さに気づきました。



◆5年生は、最後のみのり田での米栽培について、松田春雄さんの作業を見学したり、インタビューしたり、全校で一緒に田植えをしたり、稲刈りをしたりして学んできました。それを通して、今と昔の農作業の違い、肥料や病気、農機具の変遷などについて調べてきました。また、松田さんだけでなく、お家の方などにもインタビューを行い、この地域の方が米作りに誇りを持ち、たくさんの工夫と苦労を重ねて作業をしてこられたことを学びました。



◆6年生は、加茂西地区で活躍する松田春雄さん、小林正利さん、加藤はと子さんにインタビューを行い、その仕事の内容や仕事に対する思い、人生に対する考え方などを学びました。諦めずに複数の仕事にチャレンジしてきた松田さん、誰もやっていなかったハウス栽培にいち早く取り組み工夫を重ねてきた小林さん、盆栽を世界に広め、道の駅の誘客を成功させた加藤さん、それぞれの生き方から、加茂市の現在の課題と自分のこれからの生き方について考えたことを発表しました。



加茂西地域のみなさんから学んだこと

梨栽培カレンダーをつくって

3年

ぼくは梨の仕事カレンダーを作って、どの仕事も大変だと思いました。手作業が多くて、苦労すると思いました。でも、ていねいに育てているので、いただいた梨を食べるととってもおいしくて梨へのあいじょうがとどきました。伊丹さんのところで花粉づけの作業をさせてもらいました。ぼくたちは、ほんの少しの時間だけだったけど首がいたくなりました。農家の人は、本当にすごいと思いました。伊丹さんの「苦労は楽しみに変えられる」という言葉に感動しました。ぼくも気持ちをこめていろいろなことに取り組める人になりたいです。

大野美容室についてしらべて

2年

大野美容室は、道具がいっぱいあって、はさみやくしだけでも、何本もありました。お客さんや髪型によって使い分けているから、きれいに仕上げられるんだなと思いました。お店の人は、二人しかいないので、お客さんが多くて忙しいときは、お昼ごはんも食べられないときがあるそうです。でも、お客さんがきれいにしてもらうことで喜んでくれるのがうれしいから頑張っていると言っていました。

「地域と水害について調べて思ったこと」

4年

加茂西地区の農家の人は、昔から大雨が降ると田んぼや畑に水がたまりやすくて、苦労してきたんだなと思いました。水害になると畑と田んぼがずっと水に浸かってしまうけど、それでも諦めないでいろいろな工夫をして作業をしたのがすごいと思います。また、ぼくたちは、水防学習館で土嚢を運ぶ体験をしました。土嚢は、一つ15キロもあって、とても重かったです。消防団の人は、水害の時、これを何個も何個も運ぶので本当に大変だと思いました。僕のお父さんも消防団だけど、水害の被害を広げたくないから、頑張っているんだなと思いました。農家の人も消防団の人も、水害からこの地域を守る努力をしています。僕は、そんな加茂西地区が大好きです。

松田さんの米作りを調べて

5年

ぼくは、お米の肥料について詳しく教えてもらったことが印象に残りました。肥料で大切な三大要素は、「チッソ、リン酸、カリウム」です。しかし、その他にも「マグネシウム、カルシウム、けい酸」などの有機肥料も大切だと教えてもらいました。たくさん肥料をやって稲を甘やかすのではなく、タイミングや量を考えて、天候の具合をみて肥料をあげると稲が元気になり、おいしいお米がとれることを松田さんから学びました。ありがとうございました。

加藤さんの道の駅経営に関わるお話を聞いて

6年

来年は中学生になるので、いろんな人と関わる時、加藤さんの言っていた「なんでもチャレンジする」という言葉のように自分が思ったことややってみようと思ったことがあったら、友達や周りの人に言って、自分から行動してチャレンジしたいと思いました。そして、自分だけでなく他の人のことも考えて生活できるといいと思いました。

小林さんの苺栽培についての話を聞いて

6年

私は、小林さんの言っていた「何度も失敗をしながら大人になっていく」「中途半端で終わるのではなく、一度決めたら一生懸命に」という言葉にいろんなものに挑戦して、何度も失敗しながら未来につなげていきたいです。